

区長との懇談会開催

平成 23 年 11 月 1 日（火）に、区長との懇談会が開催されました。

区役所からは、区長をはじめ、副区長、区政推進課課長、地域振興課学校支援連携課長、地域振興課担当係長、総務課危機管理担当係長、福祉保健課事業企画担当係長等のご参加をいただき、



区民協議会からは、正副代表、各部会正副部会長等が参加しました。

各部会から 5 分程度ずつ、「区民のつどい」発表以降の活動状況の説明をしました。

「なまずの会」は、アンケート結果の絞り込みから出てきた疑問点を行政に質問状として提出し、回答をいただいたこと、

行政と勉強会を開催したこと、東日本大震災の被災地である南三陸町を訪問し、避難所を運営した責任者の方々の話を聞いてきたことを報告しました。区長は、南三陸町訪問について大変興味を持たれ、是非個別に話を聞きたいと言ってくださいました。

「スケッチかながわ」は、平素の緊急時にどのような不安があるのか、どのようなお手伝いができるのかを調査するためにアンケートを実施することを報告しました。区長からは、高齢者にもいろいろな考えの方がいらっしゃるの、どういことができるのかをアンケートをもとに探してほしいとのお話がありました。



「ボーダーの会」は、学区と防犯について調査をし、学区は問題がないことがわかったこと、防犯については警察の協力をいただき犯罪情報を入手分析した結果、区境による大小はないことがわかったこと、区境の問題点を 3 連合に聞き取り調査を行うことを報告しました。区長からは、行政手続きにはボーダーという発想がないが、生活上はそのような線は関係がなく、そこに視点を向けるのが新鮮で興味深いとのお話がありました。

「つながろう会」は、9 月と 11 月に中高生を集める企画を実施したこと、地域とのつながりだけでは難しいので学校との連携を探っていることを報告しました。区長からは、地域と学校の連携については是非調べてほしいとの話がありました。



各部会の活動報告の後に懇談をしました。区長は大変熱心に耳を傾け、それぞれの部会に対して暖かい応援の言葉をかけてくださいました。また、部会からの質問に対しても真摯にご回答くださり、部会活動の充実に繋がる良い機会となりました。

区民協議会は、今後も行政と区民とを繋ぐパイプ役となれるような活動をしていきます。